

国民健康保険税の国庫負担割合の引き上げを求める意見書

国民健康保険は、被用者保険に加入していない全ての人を対象としているため、所得水準の低い加入者が多く、被保険者の保険税の負担は重いものとなっている。そのため、公費負担の増による保険税の負担軽減を図ることは大きな課題となっており、特に国庫負担の増が求められるとともに、保険税の負担軽減のための支援を行う必要がある。そして、医療保険制度における国の責任を明確にしたうえで、国民皆保険が安定的かつ持続的に運営できるような制度設計に取り組む必要がある。また、国が国庫負担割合の引き上げを含めた財政基盤強化策を一層充実させるなど、適切な措置を講じる必要がある。

よって、国民健康保険被保険者の負担軽減に向けて、国庫負担割合の引き上げを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月20日

京都府精華町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣